

水道の凍結防止操作方法(水抜きと通水方法)

○ 水抜き操作

(1) 台所・洗面・浴室の蛇口から、水を少し流しておきます。

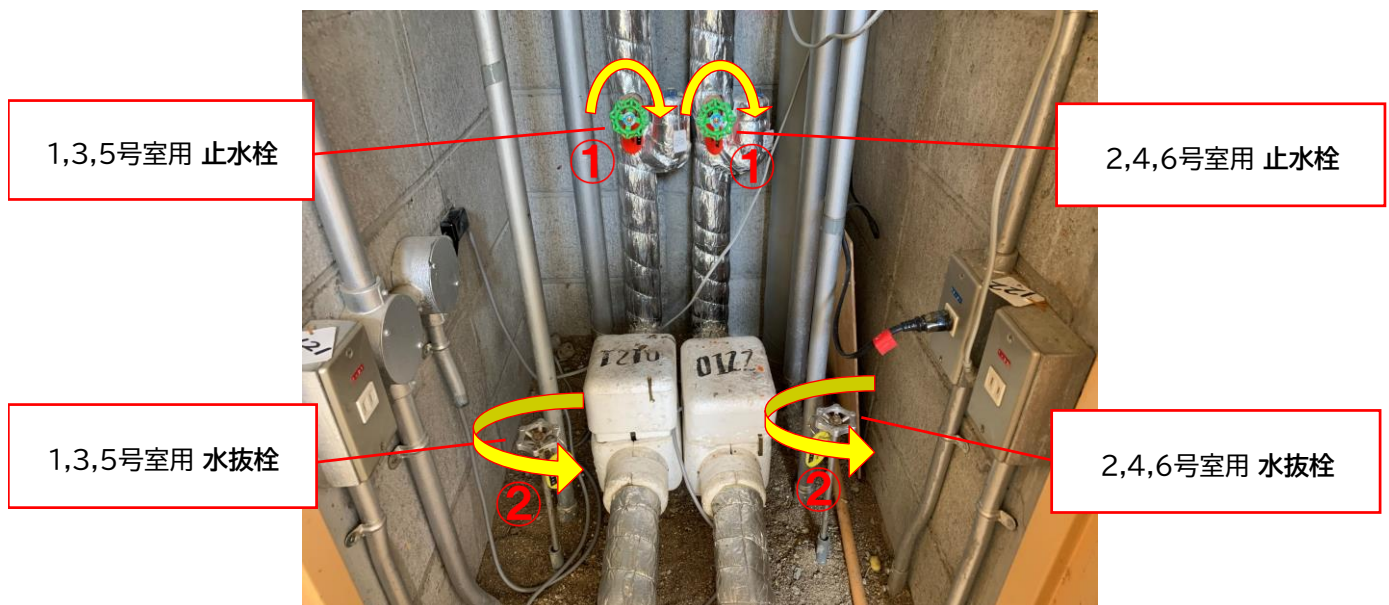


(2) 玄関脇のパイプシャフト内（水道メーターのある所）で水抜き操作を行います。

①の止水栓ハンドルを時計回りに回して、水を止めます。

②の水抜き栓ハンドルを反時計回りに回して、水道管内の水を抜きます。

※ 凍結防止ヒーターが設置されている場合は、コンセントが抜けていないか確認してください。



(3) 長期不在にする場合は、洗濯機蛇口のホースを外して、蛇口から空気を入れてください。
また、トイレの水を流し、タンクを空にしてください。（2回程流さないとも空になりません。）

(4) 蛇口から水滴が出なくなったことを確認したら、事故防止のため、全ての蛇口を閉めてください。

(5) 風呂釜、瞬間湯沸器については取扱説明書に従って水抜きを行って下さい。

※以上で、水抜き操作は終わりです。

○ 通水操作 (水を出す時)

(1) 各蛇口が閉まっていること、洗濯機の給水ホースがつながっていることを確認して下さい。

(2) パイプシャフト内のハンドルを、水抜き時の手順とは逆の順番で操作し通水します。

②の水抜き栓ハンドルを時計回りに回します。

①の止水栓ハンドルを反時計回りに止まるまで回して、水を出します。

(3) 各蛇口のハンドル（またはレバー）をゆっくりと、少しずつ開いて水を出します。

この時、水と一緒に空気も噴き出しますので、水の飛び散りにご注意ください。

※以上で、通水操作は終わりです

※ 通水当初は、濁った水・湯が出る場合がありますので、濁りがなくなるまで流してからご使用下

※ 給水栓、水抜き栓のハンドルは、全開または全閉でご使用ください。
中途半端な位置での使用は、漏水事故の原因となりますのでご注意ください。